

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	三芳町立みどり学園		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 17日		～ 令和7年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所と併設していることによるインクルーシブな環境で療育を実施できること	こどもの発達や特性に合わせ、保育所の行事や保育所の同学年クラスの活動に交流に行き、大きな集団での活動に楽しく参加できるように支援しています。集団の中でルールや手順を理解して取り組んだりお友だちと楽しく関わる経験を積める場となるよう支援しています。また保育所の子どもが本園に来て一緒に活動する逆交流もしています。	職員間で具体的な支援方法について意見交換を行い、保育所職員とは定期的なケース会議を実施し、交流を深めていきます。
2	関係機関と連携があること	在園時だけでなく地域の保護者の方から発育、発達相談があった時に保護者の同意の元、保健師や福祉課と情報共有し乳幼児健診等での様子や切れ目のない移行支援や地域支援を行っています。	引き続き子どもの支援状況や課題について情報交換、共有をします。また、移行支援と地域支援の充実を図っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職が常勤でない	専門職が常勤ではないが、勤務時にカンファレンス等で相談できる体制は整っているので一人一人の特性や発達段階、興味関心に合った支援はできる。	より良い支援ができるように、専門性を高める。
2	職員の異動があり、職員メンバーが変わる	職員の異動があり、児童発達支援管理責任者の資格習得者が少ない。保育士も異動があるため毎年職員メンバーが変わることで安定した療育を維持していくのが難しい。	日々のミーティングで保育の振り返り、こどもの様子の伝え合いを行い、内外部の研修へ参加し自己研鑽に努めます。年度末には集団の流れ、個別の引き継ぎを丁寧にやり支援力を高めていきます。